

岩手県国民健康保険運営方針に係る法定意見聴取等の結果

1 市町村に対する法定意見聴取（10/2～10/31）の結果

8市町村から意見提出（12件）

【主な意見と対応案】

市町村	意見	対応案
盛岡市	・将来に向け、県内での保険料（税）水準の統一を行う旨を記載すべき。	【修正なし】 ・保険料（税）水準の統一の前提として、医療費水準の市町村間の格差の縮小はもちろんのこと、法定外繰入等の財政状況の改善や国保税の賦課方式、葬祭費や一部負担金減免など市町村事務基準の統一を図る必要がある。 ・保険料（税）水準の統一の時期等については、こうした取組の進捗状況を見ながら、3年ごとの国保運営方針見直しの際に検討していく。
奥州市	・納付金等の算定期間について、国保運営方針の対象期間3年間変わらないものと読み取る可能性があるため、毎年度見直すことを明記すべき。	【修正】 納付金及び標準保険料（税）率は、毎年度算定する旨を追加
遠野市	・市町村における保険料（税）の標準的な算定方法の表現（ $\alpha \cdot \beta$ ）が、県民目線では非常にわかりにくいので、より具体的な数字を用いて、納付金算定の考え方を記載すべき。	【修正】 $\alpha \cdot \beta$ の説明を加えるなど、わかりやすい表現に修正
遠野市	・保険料（税）水準の統一の時期については早期に明確化し、円滑に一本化へ移行できるよう、県の主導を期待する。	【修正なし】 ・保険料（税）水準の統一の前提として、医療費水準の市町村間の格差の縮小はもちろんのこと、法定外繰入等の財政状況の改善や国保税の賦課方式、葬祭費や一部負担金減免など市町村事務基準の統一を図る必要がある。
金ケ崎町	・国保税の統一について、平準化の目標年度・目標税率を示すべき。	・現時点で具体的な目標年度等を示すことは困難であり、運営方針記載のとおり、3年ごとの運営方針見直しの時期に検討していく。

2 パブリック・コメント（9/29～10/30）の結果

・1団体から意見提出（6件）

- ・運営方針に反映させる必要がある意見はなく、「施策等の実施段階で参考とする」との対応とする。

【主な意見】

- ・低所得者への配慮の観点から、保険税の算定においては応益割より応能割の比率を高めること。
- ・「わずかな増加」に対しても激変緩和措置を実施し、現時点より高い保険税とならないよう配慮すること。
- ・滞納処分に当たっては、滞納者の生活実態を考慮し慎重に進めること。
- ・医療費適正化ではなく、県民の健康向上を第一の目的とすべきであり、疾病予防のための健診受診率向上や予防接種受診率向上に係る助成、医療費助成制度の拡充などが求められる。
- ・市町村が実施している医療費通知について、その効果に疑問があることから、費用対効果を検証すること。